

第3学年音楽科学習指導案

平成23年9月21日 (水) 第4校時

第3学年B級(男子20名, 女子20名)

指導者 小山 香純

1 単元 音楽のよさや美しさを味わう

2 目標

- 楽曲の要素や構造を理解し、音楽のよさや美しさを味わうことができるようにする。
- 楽曲の特徴をその背景となる文化や地域、時代と関連付けて理解することができるようにする。
- 楽曲の特徴から、曲のよさを知覚して鑑賞することができるようにする。
- ギターに親しみ、その特色ある音色や奏法による響きを感じ取りながら、意欲的に鑑賞する態度を養う。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第2学年及び3学年の(2)B鑑賞(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠を持って批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。」(3)共通事項(1)ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特徴や雰囲気を感じ受けること。」をねらいとして設定したものである。

鑑賞曲には音楽を形づくっている要素や構造がある。音楽を鑑賞するということは、ただ単に聴くということではなく、曲を構成する要素や構造を理解し音楽をより主体的に味わい理解を深めていくことである。表層的に快い、きれいだといったことにとどまることなく音楽を形づくっている要素や構造などを感じ取ることで、音楽のよさをより深く味わう能力を育みたい。また、音楽を特徴付けている要素にはその背景となる文化・歴史からの影響が大きい。地域性と関連付けながら、音楽を構成する要素や要素同士の関連を知覚することでそれらの働きが生み出す特徴、雰囲気を感じ受ける能力を育てることをねらいとしている。

本教材である「アランフェス協奏曲 第1楽章」(ホアキン・ロドリーゴ)はスペインの国民楽器であるギターの独奏とオーケストラによる協奏曲である。第1楽章はギターのソロから始まり、オーケストラとの掛け合いで進んでいく。8分の6拍子と4分の3拍子の複合拍子も見られ、スペインの特徴的な音楽のリズムを刻む。したがってリズムの変化とギターの音色について学習するのに適した教材である。

- 本学級の生徒は、今までにベートーヴェン作曲「交響曲第5番」スメタナ作曲「ブルタバ連作交響詩「わが祖国」から」などを学習し、オーケストラの仕組みについて理解しており、情景を思い浮かべながら楽曲を聴く力も培ってきた。しかし、今回扱うギター曲についてはまだ学習したことがなく、楽曲を作り上げている要素に注目し、楽曲の作られた背景と関連付けて根拠をもって批評する授業は行っていないため、これからの指導によるところが大きい。
- そこで本単元の学習ではまず前半にスペインの地域性と特徴的なリズムについての授業を行う。生徒にスペインについて知っていることを上げさせ、その中からスペインの舞曲であるフラメンコを取り上げる。フラメンコの映像を見せることで特徴的なリズムに注目させ、カスタネットを用いてフラメンコのリズムを体感する。その後、同じリズムが使われている映画ウエストサイドストーリーより「アメリカ」を鑑賞し、特徴的なリズムを聞き取る能力を鍛えた上でアランフェス協奏曲を鑑賞することで楽曲の中から特徴的なリズムを聴き取る授業を行う。

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 前時の復習をする。 ○ 協奏曲とは何か。 ○ アランフェス協奏曲で使われている独奏楽器は何か。	○ 協奏曲がオーケストラと独奏楽器の共演であることを振り返る場を設定する。 ○ ギターとオーケストラの共演だったことを振り返るために冒頭部分のみ鑑賞する場を設ける。	5分
2 押尾コータローのDVD (Brand New Wings) を鑑賞する。 ○ 演奏している姿の鑑賞。 ○ ギターの音色の軽快さを感じ取る。 ○ 感想を発表する。	○ ギターの魅力が十分に感じ取れる曲を鑑賞する場を設ける。 ○ ギターの演奏を聴いて感想を発表する場を設定する。	10分
3 本時の目標を確認する。 ギターの音色に着目しアランフェスの魅力に迫ろう。	○ 生徒一人一人が学習に見通しを持てる場を設定する。	11分

